

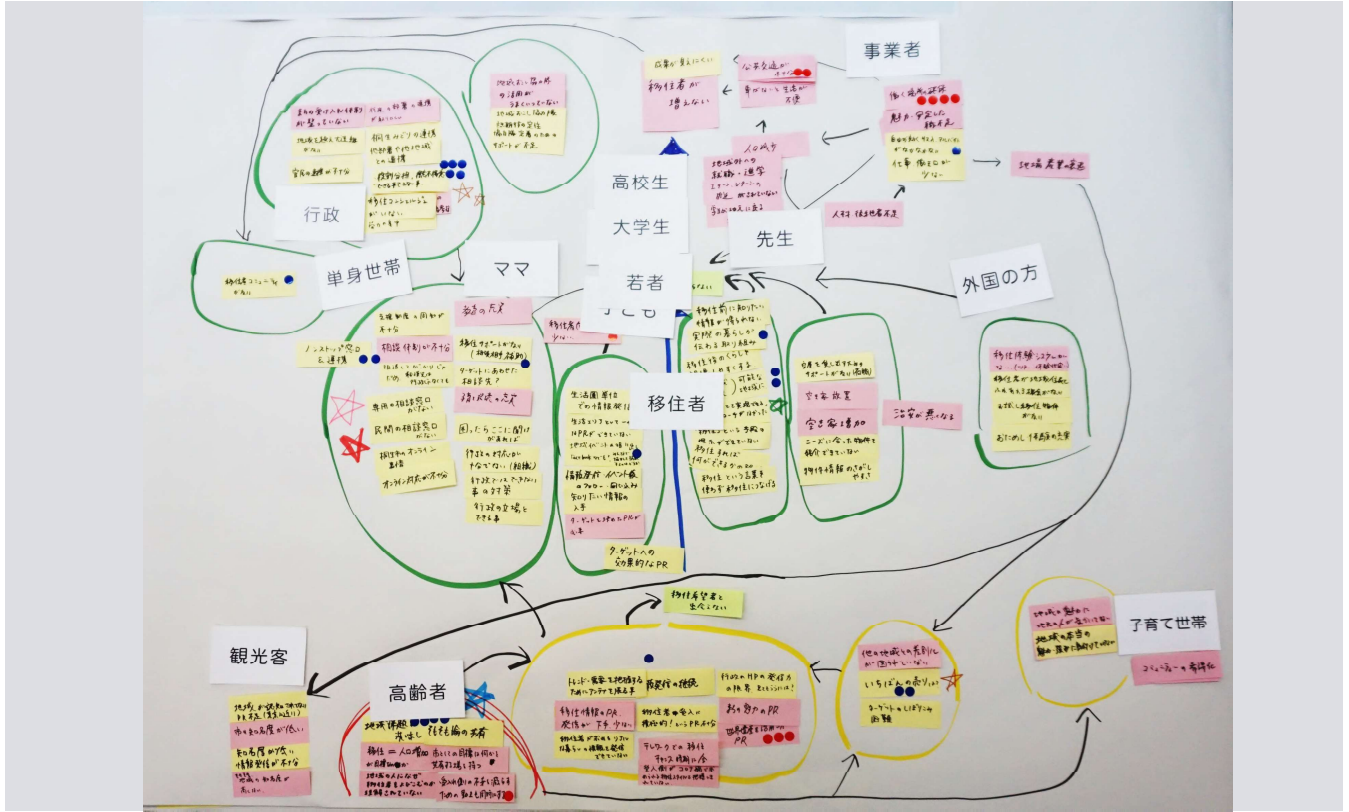
移住定住対策のコロナ禍での効果的なPR

自治体名

みどり市

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのかを、「問い」のかたちにとめました。

1 地域の未来を共有できていない

移住促進をする目的を把握できていない行政・民間プレイヤー（移住者）が、地域住民に対して、地域課題をヒアリングすることで地域全員が当事者意識を持って移住支援を行う体制をつくるために、何が可能か？

2 「移住」が「自己実現」の手段として提示できていない

実際に地域でやりたいことを叶えている移住者が、自分自身の体験を発信することで、新たな移住者（仲間）を生み出すために、何が可能か？

3 移住者の相談体制が不十分

移住者を受け入れたい行政・民間プレイヤーが、役割分担を明確にすることで、ワンストップ窓口で移住希望者の相談を受ける体制を整えるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

移住者のチャレンジをサポートする場づくり	移住希望者が移住後の生活や職業をイメージする際に地元事業者、空きテナント等の所有者がチャレンジできる環境を整えリスト化し、情報提供をする。例えば、木をテーマにしたテーマパーク、移住者商店街、やりたいことができるテーマパークなど。
地域の未来を共有するワークショップ	月2回ほど、集会所や公民館などで地域住民・関係者が地域課題をヒアリングし、地域内でワークショップをする。地域の人と未来のカレンダーを考えたり、堅苦しくない話し合いの場を設ける。

開かれた移住者ネットワークコミュニティ	移住者コミュニティを作って、移住者モデルケースを情報収集する。移住者ネットワークの設立や定期的に移住者や関心のある人が集まれるフランクな場をつくる。
オール桐生みどりの移住コンシェルジュ	移住コンシェルジュ、移住コーディネーターなどの設置。土日でも相談に乗ってくれる移住サポーターを募ったり、チャット、LINE、オンラインで現地案内や相談ができる仕組みを作る。
メディアを使った皆でやる！地域の情報発信	地域全員が執筆する回覧板+αのようなローカルメディアをつくる。その地域「ならでは」を表現するために、地域のいいところをまとめたツールを作成する。例えば、移住、2拠点居住している人の生活紹介や、地域のデメリットをまとめた「悪いところ図鑑」など。